

令和6年度 第1回 織田廣喜美術館運営協議会 会議録

1. 会 議 の 名 称 令和6年度 第1回 織田廣喜美術館運営協議会

2. 開 催 日 時 令和6年6月6日(月)10:30～

3. 開 催 場 所 織田廣喜美術館 市民アトリエ

4. 公開非公開の別 公開

5. 出 席 者 ※敬称略

(1)出席委員

緒方 泉

三木 一司

北冨 真治

坂本瑠里子

川尻 司

(2)欠席委員

丸山 桃子

(3)教育委員会

生涯学習課長 末永 康洋

課長補佐(館長) 松浦 宇哲

文化推進係主査 藤原 千晶

文化推進係主査 有江 俊哉

(4)指定管理者 (株)図書館流通センター

統括責任者 下田 富美子

サブチーフ 木村 亜沙子

6. 傍 聴 人 数 0人

7. 議題及び審議の内容

【議題】

(1)会長及び副会長の選出について

(2)令和5年度事業報告について

(3)令和6年度事業計画及び報告について

(4)その他

【提出資料】

- (1) 令和5年度事業報告
- (2) 令和6年度事業計画
- (3) 令和6年度事業報告(4月)

議題及び審議の内容

議題 1: 会長及び副会長の選出について

- 会長 緒方 泉氏、副会長 丸山 桃子氏に決定

議題 2: 令和5年度事業報告について

事務局による説明

- 資料1を基に説明

質疑応答

- 委員: 美術館を利用する幼稚園や保育園は市内、市外どちらが多いのか?
 - 指定管理者: 昨年度は市外の施設からの依頼が多く、同じ施設から何度も依頼があった。
- 委員: 出張講座は飯塚市だけで実施しているが、市内の施設には実施しないのか?
- 会長: 教育委員会で未就学児市内施設への情報提供はしていないのか?
 - 事務局: 個別の子育て世代向けに嘉麻市の公式 Line で情報発信を行っているが、幼稚園、保育園等施設への出前授業等の情報発信は行っていない。
- 会長: ホームページ上では出張美術館等の情報は公開されているのか?
 - 指定管理者: プログラムができていないので公開していないが、出張の希望があれば打ち合わせの中でプログラムを作成し実施している。
- 会長: 活動の様子や実績を SNS 等で発信しているか?
 - 指定管理者: 先方の意向もあり発信していない。
- 会長: 入館者の統計資料がわかりやすく作成されている。アトリエ利用者や講座受講生、出前講座受講生の延べ人数もレポートした方が美術館の利用実績は伝わりやすい。また、SNS のフォロワー数や「いいね」の数も数値化して報告することで市民の関心度を評価しやすい。
- 委員: 織田廣喜美術館は幹線道路から奥に入った場所にあり、もっと気軽に立ち寄れる場所にしたい。
- 会長: 嘉麻市を訪れる人をどのように導くか工夫が必要

- 委員: 碓井義務教育学校は 3 年生しか美術館に来ていない。隣接の碓井平和祈念館には義務教育 7 年生が利用することになっている。嘉麻市の児童画展の際に嘉穂小学校はスクールバスで何度も来館しているが、碓井義務教育学校は来ていない。徒歩で 10 分程の距離なので、もっと積極的に美術館を活用させたい。
- 委員: 企画展の際に児童、生徒が見学に来る場合は入館料が必要か？
 - 事務局: 特別展でも、学校の教育課程による学習活動として観覧する場合は免除となる。
- 委員: 昨年度の入館者推移では、「ぐりとぐらの複製原画展」が好評だった。閑散期、繁忙期の波を小さくするために、年間を通じてスポット的に事業を計画することが重要
- 委員: 愛宕幼稚園への出前授業が数回行われているが、これは先方からの依頼によるものか？
 - 指定管理者: そうである。市内の幼稚園、保育園にも同様の取組みを希望されている可能性がある。
- 会長: 幼稚園、保育園と連携し、日常的な造形カリキュラムに美術館が関与できると良い。子どもたちが描いた絵を美術館に飾るプログラムも良い。
- 委員: 小さなころからアートに親しみ、出来上がったものは展示するものだと知ることが大切。その子どもたちと美術館のつながりが重要。
- 会長: 依頼先が増えると業務量が増えるため、定型的なプログラムが固まったらマニュアル化、映像化してホームページなどで発信し、学習コンテンツを作成する。
- 委員: 映像コンテンツを発信することで、先生たちが幼児向けに安全な画材や指導方法を学べる。

議題 3: 令和 6 年度事業計画及び報告について

事務局による説明

- 資料 2 を基に説明

質疑応答

- 委員: 貸館は一般市民が利用できるのか？
 - 指定管理者: 希望の日程で展示室など利用可能か確認し、申請いただく流れである。
- 委員: 利用料金はどのくらいかかるのか？
 - 指定管理者: 市内であれば 1 時間単価が 1100 円である。詳細は後ほど資料配布

- 委員: 美術館を借りて企画展を実施する場合、申し込み後すぐにできるのか？
 - 指定管理者: 年度内であれば年間事業計画で使用していない期間は利用可能。重なる場合は次年度に計画
- 委員: 他所の美術館の方が嘉麻市でイベントを希望している。
- 会長: 別の団体と繋がっていけるように引き続きお願いしたい。
- 委員: 県展が例年 10 月から 11 月に開催されるが、文化祭を県展の前後に開催しているため早めの調整が必要。
 - 事務局: 県展の日程は中期的に調整している。早めに調整したい。
- 委員: 石川えりこさんの原画展示について、夏休み期間中であり学校で利用するなら夏休み明けの 2 週間が良い。低学年でも楽しめる。
 - 指定管理者: ぜひ観ていただきたい。
- 委員: 部活動で美術館へ行った場合は免除の対象になるのか。
 - 指定管理者: 免除の対象である。
- 委員: 美術館を活用した学校教育活動支援プログラムは毎年実施されているのか？
 - 指定管理者: 学校からの希望があれば実施している。
- 委員: カリキュラムを早く計画する学校では 11 月に次年度のカリキュラムを編成する。鑑賞教材や低学年の描画教材として活用できる提案があると良い。
- 会長: カリキュラム編成のめどは 10 月くらいか？
- 委員: 10 月は秋の行事があり、その後に教務主任などが次年度のカリキュラムの調整を始める。
 - 事務局: 具体的なプランを用意し、定期的に情報提供していく。
- 委員: 岡山県の美術館と県立美術館の連携で、学校向けに年間利用計画を作成している。美術館の担当者が打ち合わせを通じてカリキュラムに落とし込んでいる。
- 会長: 市民のニーズに応える美術館を目指して、持続可能な事業運営を行っていく必要がある。

(4)その他

指定管理者よりイベント「絵本と歌で楽しむアートな時間」告知

閉会

この会議録は、緒方会長に確認していただきました。